

参加者の声

- ☆ 実体験に基づいて、本音や教訓を語ってくださったので、自分の将来についてより具体的に考えることができた
- ☆ 学校生活だけでは聞けない、女性医師の働き方に関するリアルな声が、女性医師、男性医師両方から聞いた
- ☆ 先生個人の悩みが多く、成功体験の多い講演よりも参考になりました
- ☆ 具体的な内容がたくさん提示され自身の今後について改めて考えるよい機会になった
- ☆ 上手くいかなかったこと、仕事の楽しさ、振り返りなど聞いて良かったです
- ☆ 実際の先生方の悩み、考えをお聞きし、自分の考えを変え、共有することの大切さを感じました
- ☆ 空気感が良かった。話しやすい雰囲気良かったです
- ☆ 女性の先輩のお話を聞いて参考になり、今後も相談できたらと思いました
- ☆ みんなで積極的なディスカッションができたと思います

MenJoyプロジェクト

2019

(第3回兵庫県の地域医療を担う医師・医学生のための男女共同参画研修会)

活動報告書

【主催】

公益社団法人 地域医療振興協会 兵庫県支部
神戸大学大学院医学研究科 地域医療教育学部門

日時：令和元年10月19日（土）15時～17時
（情報交換会17時10分～18時30分）

場所：神戸大学医学部附属地域医療活性化センター
地域社会医学・健康科学講座フロア

連絡先：神戸大学大学院医学研究科 地域医療教育学部門

〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター

TEL 078-382-6732

URL <http://www.med.kobe-u.ac.jp/dcme/>

We are all looking for the best future

地域には地域の課題がある。

挨拶

MenJoyプロジェクトは2017年から始まり、今年で3年目となります。2018年6月には働き方改革関連法案が可決されました。しかし、厚生労働省の「医師の働き方改革に関する検討会」ではまだまだ課題が山積みです。働き方はまさしく現場の問題です。地域で勤務している、または将来勤務する医師・医学生自身が、働き方を見つめ直し、共に議論する場が必要と考えています。

MenJoyプロジェクトの目的

ライフステージにおいて、子育て・介護・自身の病気など様々な問題に直面します。いきいきと仕事をしてキャリアを豊かなものにしていくためには男女お互いの協力が大切です。地域医療の現場で働く上での課題や悩みを明確にし、その解決策について議論します。

※ MenJoyとは：Men(男医)とJoy(女医)が共にenjoyしながら働くことを意味した造語です。



MenJoyプロジェクト2019の概要

- 15:00 開会挨拶
- 15:10 講演「仕事と子育て・ワタシの場合～兵庫県養成医師として働いて～
戎谷 亜希子先生(兵庫県職員健康管理センター 所長)
- 16:00 グループセッション「現場での課題を見つめてみよう！」
セッション1(働きやすい職場環境とは?)
セッション2(夫婦単位でキャリア形成を考えてみると?)
- 17:00 閉会挨拶
- 17:10-18:30 情報交換会

講演

兵庫県養成医師制度のOG医師である戎谷亜希子先生にご講演いただきました。これまで勤務されてこられた地域毎に、勤務上の学びや苦勞、思い出、子育て環境を含む生活状況などをご紹介いただきました。また、産業医の職務や過労死、育児休暇等の制度、ご自身の仕事観についてもお話くださいました。いずれも実体験に基づくお話であり、とても身近に感じることができそうな内容でした。



グループセッション

医師・医学生別にくじを引き、2グループに分けてフリーディスカッションを行いました。セッション1のテーマは「働きやすい職場環境とは?」。当番医制の導入や保育環境の整備といった具体的な提案の他にも、職場・地域の文化や雰囲気づくりといった意識改革の重要性が共有されました。

また、セッション2のテーマは「夫婦単位でキャリア形成を考えてみると?」。夫婦間での優先事項の共有や、具体的な計画、節目での話し合いの重要性が提示されました。また、集中したトレーニング期間を作るために育児の主体を年単位で交代するといった提案や、そのためにはお互いを尊重し合い感謝の気持ちを忘れずにいることも大切であるといった声が聞かれました。

いずれのセッションでも、参加者の多様な価値観・考え方が共有され、共に考える機会をもつことの重要性が強調されていました。



セッション1



セッション2



内容発表

情報交換会

地域で働く医師の私生活など、普段なかなか聞くことができないようなお話が多数飛び交い、アットホームでありながらも、とても盛り上がりのある情報交換会となりました。

